

用語 【グレーチング】道路の側溝などに使われる金属製の格子状の蓋
【ガードレール】ビーム（金属製の板状の部分）、袖ビーム（端の曲がった部分）



草間 典夫 議員

質問 防犯対策：…安全・安心な地域づくりのために「明るさ」を！
答弁 ソーラー防犯灯の設置について、今後慎重に精査し検討していく

草間議員の質問動画



議員

近年の市内金属類盗難の発生実態について伺う。

保健衛生部長

令和4年5月現在での被害報告はグレーチング86枚、ガードレールのビーム12枚、袖ビーム59枚。敷地内機械設備の廃材の一部やアルミ製フェンスの棒など約140本。その他、田畑における金属製のバルブや蛇口、太陽光などの銅線等の被害も確認している。

議員

発生場所は、鬼怒川の西部地区に被害が集中しているが、東部地区の若宮戸、豊田地区などでも被害が発生している。

保健衛生部長

これらの被害発生実態の分析から、どのようなことが分かったか。
金属製品の相場が高騰し高額で取引されていることが起因していることや、連休前や深夜から朝方の人通りが少なく、街路灯や防犯灯等が設置されていない薄暗い場所での盗難が行われたと推測できる。

議員

被害発生場所の傾向として、人



通りが少なく、薄暗い場所という条件に該当する箇所は鬼怒川西部には数多くある。薄暗いどころか真っ暗と言っても過言ではなく、だからこそ未然防止、再発防止対策として「明るさ」が必要なのである。

そこで、問題発生の誘因となるそれら現場の暗さを解消するための防犯対策として、ソーラー防犯灯などの設置についての市の考えを伺う。

保健衛生部長

暗さを解消する上で、ソーラー防犯灯の設置は、送電距離が長い場合や電気料金負担軽減等の観点から大変有効な設備であると見込まれる。今後設置を検討する上で、照度規格、器具や蓄電池の耐用年数、また価格等の費用対効果を慎重に精査していく。

議員

安全・安心な地域づくりのためには、環境整備という改善が必要である。防犯、事故等の未然防止から安全・安心の向上に結びつく「明るさ」を着実に灯す（設置すること）ができるよう望む。



岡野 一男 議員

質問 水海道川西地区のインフラ整備
坂手川又線の整備を進めてほしい
西幹線の整備を優先的に進めたい

岡野議員の質問動画



議員

市民は、安心して暮らせる生活空間を求めている、昔も今も変わらぬ要望は、生活環境の整備である。道路整備の基本方針とは何か。

都市建設部長

インフラ整備の基本方針は、「災害時にも必要な機能を確保できるような計画的に整備、更新に取り組み、市民生活の安全性及び利便性の確保に努めること」である。

議員

災害時にも必要な機能を確保するということが、現実的には道路網の整備はまだ足りていない。西幹線道路の一部3.7kmは供用開始されているが、西幹線周辺の道路改修要望の進捗状況はどうか。

都市建設部長

坂手地区の請願は7件出されていて、このうち3件は事業を進めているが、残り4件は整備を検討していく。

議員

南部地区を東西に横断する幹線道路、坂手川又線の進捗はどうか。
市長公室長
平成17年3月に新市建設計画を

策定した。この中で水海道南部エリアの鬼怒川を挟む東地域を結ぶ幹線道路として坂手川又線を土地利用構想図に位置付けているが、具体的な検討には至っていない。市としては、鬼怒川西部地域の南北幹線を優先的に進めていきたい。

議員

縦軸の西幹線が開通し、次は横軸である坂手川又線ではないか。先の水害時には、水海道体育館を拠点として救援活動を展開してきた。災害時に必要な公共施設はきちんと整備していくべきではないか。

市長公室長

鬼怒川西部・南部地区は高台地区であり、防災の面でも有用な地区であると捉えているが、縦軸の整備を優先したい。

議員

先の水害時には、川西地区には縦軸はなかった。川東地区には縦軸が2本あったが浸水し、道路としての機能は果たさなかった。西幹線は開通したので、横軸の坂手川又線の整備を進めてほしい。